

ゆめホール知床25周年記念
写真ゼロ番地 知床「TOP END 8」

ぜろ
banchi
Shiretoko
Photo Project
2024



あのころ、このころ、ごろごろ。

「斜里 昭和ノ映写室3」



photo by Naoki Ishikawa

三好大輔 × 石川直樹

映像・写真展 in 知床
'24.2/23-3/3 (金・祝) (日)

OPENING EVENT

2/23 (金・祝)

映画「斜里 昭和ノ映写室1〜3」上映
● 三好大輔×石川直樹トーク

2/24 (土)

映画「斜里 昭和ノ映写室1〜3」上映
● 映像と音楽 ピアノ 寺尾紗穂

※天候等の理由により中止となる場合があります



X <旧Twitter>



Official site

斜里町公民館 ゆめホール知床 入場無料 ※2/26(月)休館

斜里町公民館 ゆめホール知床 〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町4番地 開館時間 9:00-20:00 (*変更となる場合があります)

主催: 写真ゼロ番地知床実行委員会 | 協力: 斜里町・公益財団法人 知床財団・一般社団法人 知床しゃり | 特別協賛: 公益財団法人 太陽財団

ゆめホール知床25周年記念
写真ゼロ番地 知床「TOP END 8」



三好大輔 × 石川直樹

映像・写真展 in 知床

'24.2/23-3/3 (金・祝) (日)

Topend
film & photo exhibition
in Shiretoko

斜里町公民館 ゆめホール知床 入場無料

映像・写真展スケジュール 会場：公民館ホール

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
23	24	25	26	27	28	29	1	2	3
13:00- 19:00	10:00- 19:00	10:00- 19:00	休館	10:00- 19:00	10:00- 19:00	10:00- 19:00	10:00- 19:00	10:00- 19:00	10:00- 17:00

オープニングイベント

2/23(金・祝)

●映画「斜里 昭和ノ映写室1~3」上映

会場:文化ホール
上映開始時間

part 1 15:00
part 2 16:00
part 3 17:00

※17:00からの上映後

●三好大輔 × 石川直樹トーク

斜里で3作目となった地域映画について、活動の経緯から、その意義を語ります。

映像・写真展「TOP END」について

2016年誕生した「写真ゼロ番地 知床」。写真家の石川直樹さんと一緒に、観光客はもとより、地元の人でさえ気付かなかった新しい知床の一面を、発見・発信するプロジェクトです。「TOP END」は、石川直樹さんと招待作家による、知床をテーマにした映像・写真展。毎年冬に斜里町で開催しており、今回で8回目となります。

映画「斜里 昭和ノ映写室」について

斜里で昭和時代に町民が記録した8mmフィルムを集め制作した地域映画。市井の人々のまなざしにより撮影された何気ない日常の風景の数々は、賑やかだった時代の斜里の空気をいきいきと蘇らせます。町の人たちの生きた声や演奏もこの映画の魅力のひとつ。8mmフィルムが過去・現在・未来を繋ぎます。

2/24(土)

●映画「斜里 昭和ノ映写室1~3」上映

会場:文化ホール
上映開始時間

part 1	9:30	14:30
part 2	10:30	15:30
part 3	11:30	16:30

●映像と音楽 ピアノ 寺尾紗穂

斜里で集めた昭和の8mmフィルムに合わせ、寺尾紗穂さんが即興で音楽を奏でます。

会場:公民館ホール

※天候等の理由により
中止となる場合があります

開場13:00 /
開始13:30

主催: 写真ゼロ番地知床実行委員会
協力: 斜里町・公益財団法人 知床財団・一般社団法人 知床しゃり
特別協賛: 公益財団法人 太陽財団

[お問い合わせ]
事務局: 馬場 090-7510-6190
shashinzero@gmail.com

三好大輔 | 映画監督

1972年岐阜生まれ、東京育ち。1995年日本大学芸術学部卒業後、映像制作会社、音楽専門チャンネル、広告会社を経て独立。癌を患う友人を追った記録がNHKのETV特集「オレを覚えてほしい」で評判となる。2008年東京藝術大学美術学部デザイン科講師。8mmフィルムによる「地域映画」づくりをはじめ全国に活動を広げる。東日本大震災後安曇野に移住。2015年株式会社アルプスビクターズ設立。2020年松本の築150年の古民家に拠点を移す。『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』共同監督。



石川 直樹 | 写真家

1977年東京生まれ。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。



最新情報
X <旧Twitter>



写真ゼロ番地 知床
Official site